

久保雅己 議員



町内の備蓄品の状況は？

問 災害時の燃料・飲料水等の備蓄状況を伺います。

また、避難場所の見直しと備品の整備を考えていますか？

必要な備蓄、避難所は検討

答 燃料は、民間との連携も含め、町としてできる限り対応が必要ですが、国や県、関係機関に頼らざるを得ません。

食料や飲料水等は、3日から1週間分を個人で備蓄しておく必要性を引き続き周知します。

避難所は、令和3年2月に一部見直しをしましたが、今後も適時適切に見直しを考えます。

備品についても財政的な課題はありますが、必要に応じて検討します。

町外でも利用できる割引券！

問 65歳以上の方に支給されるはり・きゆう等施術費割引券が使える施術所は、町内が6か所、町外が8か所指定されています。

町外の施術所が多く指定されている理由を伺います。

利用実績はほとんど町内！

答 合併前の旧町の要綱を引き継ぎ、それまで指定されていた町外施術所も引き続き指定できるように、要綱を定めたためです。ちなみに、令和2年度の利用実績をみると、町内施術所での利用が83%と大半を占めています。



飲料水の目安は、 一人1日3リットル！

保存期間の長い普段の食料を多めに購入しておき、期限の近いものから消費、使った分を買い足す「ローリング・ストック方式」も効果的です。

山中正樹 議員



砂防ダムの目的は？

問 土砂災害を防ぐための砂防ダムの目的と効果を伺います。

土石流発生時の土砂を捕捉

答 砂防ダムは、不透過型と透過型があります。

不透過型は上流からの土砂災害をコントロールし、山腹崩壊防止の伸縮を防ぎ、下流域への被害を防ぎます。

透過型は比較的小さい粒径の土砂は流下させ、大雨などにより土石流が発生した際、大きな岩や流木などを含む土砂を受け止めます。

町内で整備されている砂防ダムは、大部分が平常時に土砂をためる不透過型砂防ダムです。

通学路の安全確保は？

問 6月28日、千葉県八街市で飲酒運転により児童5名が死傷するという、痛ましい事故が発生しました。

保護者を含めての、小学校通学路の安全確保と合同点検の実施について伺います。

通学路安全推進協議会で改善

答 65通学路の点検については、学校だけでなく「周防大島町通学路安全推進協議会」において対策を講じています。

まず、学校が通学路の点検結果や地域・保護者からの情報をもとに、危険箇所や改善要望箇所のリストを作成し教育委員会へ提出します。このリストに従い協議会が関係機関と連携し、改善に向けて取り組んでいます。



子ども達の安全を見守ります。